

宮崎市「事務事業の外部評価」 事業別判定結果シート

チーム名	第 3 チーム	担当課名	企画政策課
事業番号	3-1	事務事業名	国際交流事業(宮崎市国際交流協会支援事業)

判定結果	見直しが必要
------	--------

【結果内訳】

判定		判定理由	
選択人数	区分	選択人数	項目(複数選択可)
1	不要 (廃止)		① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
		1	② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
		1	⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
4	見直しが 必要		① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
		2	② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
			③ 他の事業との統合を検討すべきである。
			④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
		1	⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
		2	⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
		2	⑦ その他
0	現行どおり	現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。	
1	拡充が必要		① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
			② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
		1	③ その他

【判定人からのコメント】

○「見直しが必要」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント
<p>① 国際交流の市としてのビジョンを伝え、戦略的に取り組むための補助金だと言えるよう、市のかかわり方も含め見直して欲しい。</p> <p>② 国際交流協会がこういった形で将来存続すべきか市が主導して考えるべきである。</p> <p>③ 自主財源の拡大を図る必要がある。イベントの実施時期を周知して参加者数を増やす必要がある。</p> <p>④ 法人会員からの会費増に努めるべきである。県国際交流協会との連携をさらに進めるべき。補助金の内訳が人件費中心なので、成果が見えるようにするべきである。</p>	<p>⑤ 今の状況では不要。市の国際化のビジョンを作り、その中の位置付けをはっきりさせて欲しい。</p> <p>⑥ 自助努力において事業費の拡充が必要である。</p>